

知見の共有とイノベーションによる高齢者の健康増進とより良いウェルビーイングの実現

現在、世界の人口は80億人を超えていると推計されている。これが、2037年には90億人、2058年には100億人に達すると推計されている。また、65歳以上の人口が占める割合は、現在の10%から2050年には16%に増えると予想されている。さらに、80歳以上の高齢者人口は今後30年間で3倍になると予想されている¹。

人口の高齢化に備えて様々な対策がとられているが、超高齢化社会にはなおも解決を必要とする多くのヘルスケアや社会的ケアの問題がある。人口動態の大きな転換期を迎えた今、国連「健康な高齢化の10年」²の目標が強調するように、より多くの人々が生涯を通じて健康、ウェルビーイング、自立を最大限に享受できる社会を実現することが求められている。そのためには、高齢化先進国であり、高齢者のための様々なヘルスケア施策を長年実践してきた、G7諸国が果たすべき役割は極めて大きい。

適切な環境、身体活動、社会的関係の維持が、加齢に関連する疾患の発症の可能性を低減するのに有益であることはよく知られているが、効果的で個別化された予防戦略を開発し、加齢による疾患の発症を遅らせたり抑えたりするためには、老化に関する生物学的メカニズムに関する理解がまだ不十分である。したがって、エイジング・サイエンスあるいは「ジェロサイエンス」を推進するため、より多くの研究費の投入が必要である。

世界保健機関（WHO）が定義する、個人と社会にとって包摂的な意味でのヘルスの概念には、社会的な関係性が含まれており、社会的孤立の軽減は、心身の健康にとって重要な課題である。そのため、特にパンデミックや災害時など、高齢者の能力が低下しやすい状況においても、高齢者が社会に積極的に参加できるような新しいシステムを構築する必要がある。3年間続いたCOVID-19パンデミックは、感染による多くの死者を出しただけでなく、現在も社会に計り知れない影響を及ぼし続けている。ロックダウン等の社会的政策により、日常生活における身体活動や地域活動が制限されたことで、ヘルスケアサービスへのアクセスが困難になったり、社会的孤立、身体・認知機能の低下といった問題が生じている。また、高齢者は気候の変化（エクスポーズや繰り返される熱波など）に対して特に脆弱である一方、旅行などでの移動の増加は、より脆弱な人々に影響を与える伝染力の強い、新興病原体の蔓延を助長しうる。さらに、燃料枯渇による貧困などの社会経済的・人口統計的要因が、高齢者に予期しがたい影響を与える可能性がある。

高所得国は特に、出生率と労働年齢人口が急速に減少する中、高齢者にケアを提供し、人口の高齢化のもとで社会的結束を維持する必要性に迫られている。誰がそのようなケアを提供するのだろうか。出生率が上昇する可能性は低く、仮に上昇したとしても、人口動態の不均衡を調整し社会に影響を及ぼすに至るには数十年かかるだろう。特に高所得国や地域では、家族を中心としたケア提供の影響とその限界が認識されつつあり、その結果、ケア従事者の不足が深刻になっている。現在および将来の課題に対処するためには、これまでのように既に確立された専門的なケアサービスやインフォーマルなケアのみに頼るのではなく、ケアしあう包摂的な地域共生社会が必要である。また、高齢者とケア提供者において、（デジタル）技術が容易に活用されるようアクセシビリティの確保と継続的なトレーニング、さらに緊急時に起動し十分に活用できるレジリエントなバックアップインフラの構築が必要である。

全体として、近年の人口動態の複雑な変化は、世界を根本的に変貌させつつあり、我々の将来にとってグローバルな課題を提起している。もし社会がこれらの課題に対処できなければ、高齢化は社会的な不平等を自己増幅させ、結果として社会を不安定にする要因となる可能性がある。それゆえ、高齢化の課題に対し永続的な解決策を提供する、革新的・科学的・公衆衛生的・技術的アプローチを確立することが不可欠である。

従って、我々は、G7各国政府に対し、以下の行動を取ることを求める。

1. 世界的な高齢化の課題に対する持続的な解決に向けて、老化生物学の複雑性と老化の進行過程の多様性の理解の向上

- ライフスタイルは老化の進行過程を決定する可能性が高いため、幼少期から健康的なライフスタイルを形成するための教育施策を実施する。
- 老化の生物学的メカニズムの研究を進め、医学生物学への応用に向けた健康寿命の延伸を図る。
- 老化の初期段階制御バイオマーカーの特性を明らかにし、それによって、不健康な老化の危険性がある個人や革新的な治療法の適用が可能な個人を特定し、個別の予防戦略を構築する。
- 高齢者の気候変動への適応を含め、高齢者の自立を維持・促進し、健康長寿を推進する適切な環境を人々に提供するための新たな知見を強化する。
- 老化関連疾患（アルツハイマー病、糖尿病、骨粗鬆症、循環器疾患など）の発症を予防、遅延、阻止し、また能力を維持するために、老化生物学をターゲットとした新しい薬剤戦略を開発し、調整する。

2. エビデンスに基づくテラーメード型の疾病・フレイル予防が一体となった包括的医療介護システム構築の推進

- 健康の決定要因、特に経済的・社会的格差に対処する政策を重視し、ライフコースにわたる公衆衛生的アプローチを実践する。
- 優れた疾病管理だけでなく、出来るだけ幼少時から効果的な健康増進を図ること（小児肥満等）及び、個人レベルおよび社会的な政策やプログラムにより機能に注目することで、能力の維持・向上を最大化させる。
- ヘルスケア従事者に対し、フレイルの早期発見・予防のためのエビデンスに基づくアプローチを広く普及させる。
- 創薬から（介護）支援までのバリューチェーン全体において、情報技術（IT）、人工知能（AI）、ロボット工学など、デジタル時代の新技術へのグローバルなアクセスを支援する。寡占的な企業体を出現させない。
- 感染症の蔓延を防ぐための健全（堅牢）な公衆衛生システムを構築し、ワクチン忌避に対処するための公衆衛生教育を実施する。感染予防のために社会的活動・関係を制約する措置が取られた場合でも、積極的なコミュニケーションや身体活動を維持するための正しいオンラインツールなどを普及させる。
- 認知症・生活機能低下を十分に受け入れることができる包括的な介護システムを構築する。ライフコース・アプローチにより、その社会の文化や手段に応じて、エビデンスに基づいた対応力のある医療・社会保障制度を構築することが理想的であるが、それにより人々が有意義に、可能な限り長く自立した日常生活を送ることができるようになるであろう。
- 情報通信技術（ICT）やロボティクスなどの先端技術を用いたヘルスケアサービスが、高齢者の目標、権利、嗜好、ニーズに対応し、認知・身体機能を維持・向上させ、個人の尊厳とプライバシーを保護しながら、技術をより良い、より利用しやすい介護の支援・補強として活用できるようにする。

3. 多様なコミュニティベースのプログラムや先進技術を活用した、高齢者の充実した生活と主体的な社会参加を促進する新しい社会支援システムの構築

- 社会的孤立を減らし、社会的・精神的ケアを必要とする人々が地域活動を通じて社会との関わりを維持することができる包摂的・統合的な地域ケアを構築する。
- 高齢者がその経験と知識を活かしてメンターとして有意義な役割を果たし、高齢者の社

会的統合と健康を促進するために、高齢者が新規技術を利用できるよう促進・加速する教育プログラムに投資する、包摂的・共生的な社会を目指す。

- 複数の世代の人々が集まり、互いに関わり合える場所を提供するとともに、ケアを必要とするすべての人々が生活できる場を提供し、フォーマルケアとインフォーマルケアを融合する。また、社会的処方ハブとして、また社会的存在として個人の安全を確保する場として、統合的地域ケアセンターを展開する。
- 高齢者の安心・安全・自己決定できる生活のために多様化するライフスタイルやニーズに対応するため、IoT、信頼できるAI、ロボティクスを活用して持続可能なスマートハウスやオンデマンドでの移動手段を含む新たな交通サービスの開発を促進する。

4. 技術革新と適切な支援システムによる、フォーマル及びインフォーマルケア従事者の社会経済的地位とウェルビーイングの改善、介護の効率と質の向上

- 高所得国と低所得国の間の人口動態の非対称性から、高所得国では労働力としてのケア従事者の必要性、低所得国では若者の雇用機会の増加の必要性に対処するため、合法的な移民政策を構築しなければならない。そのためには、労働者のための教育プログラム、この相互利益に関する国民への情報提供、そしてこのような移民を促進するための政治的柔軟性が必要である。
- 科学的根拠の分析を通じ、ケアにおける技術革新を推進し、ケア従事者の負担を軽減し、介護の効率を向上させるとともに、ケアを必要とする人とケア従事者の相互理解を最大限に生かすべく、ケアの人間の側面も重視する。
- 女性、高齢者、ヤングケアラーを含む家族ケアの負担の実態を把握し、負担を軽減する。彼らの社会的孤立を防ぎ、手段的・精神的・経済的支援を提供するシステムを確立する。
- 多様な社会的背景、民族、出身国のケア従事者が主体的に参加し、必要な社会的・法的保障を受けられる包摂的な社会を構築する。そのような社会の構築において、ケア従事者を支援する専門職の役割に焦点を当てる。

¹ World Population Prospects 2019: Highlights (2019). <https://www.un.org/development/desa/publications/world-population-prospects-2019-highlights.html>

² Decade of Healthy Aging (2020). https://cdn.who.int/media/docs/default-source/decade-of-healthy-ageing/final-decade-proposal/decade-proposal-final-apr2020-en.pdf?sfvrsn=b4b75ebc_25&download=true